

2015年4月5日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 あゆみの家

会長 尾根 清美

1. プロジェクト名

「重度身体障害者 あゆみの家ケアホーム建設3年計画」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

老障介護が重大な問題となっている中、あゆみの家の親も歳を重ね、今年もグループホームの入居を目前に市外の入所施設に預けることになった例があり、私達の最終目標とするグループホームは早急に造らなくてはならないという現実がありました。施設建設は補助金や寄付金で何とかかなるとして、経営的に難しい重度身体障害者のグループホームは全国的にも数少なく、実現不可能と思われていましたが、理解してくれる社会福祉法人に巡り合い目的達成に向けて頑張りました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

あゆみの家のケアホーム建設委員会は、勉強会、他の施設見学、市や都との面談などプロジェクトで頂いた助成金を活用させていただきました。会報ビリーブなどを通じ、悩みを理解してくれる民間の社会福祉法人の努力と、青梅市の協力的な姿勢もあり、3年間で目的が達成し27年度にはグループホーム「日向の家」が開所することになりました。同時に新しいあゆみの家の改修にも2年間努力し、家庭的で居心地の良い生活訓練所が出来上がりました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

グループホーム建設やそこに入居するにあたり、社会福祉法人と何回も打ち合わせをしたり、一人一人家庭訪問をして頂いたりしました。また支援する会の人達とも数回会議を開き、社会福祉法人に多額の寄付もさせていただきました。あゆみの家の改修には必要な物品の提供もありました。両者とも私達が子供の介護をしながら仲間同士で助け合って努力してきたことの結果だと評価してくれました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

ケアホーム建設計画を立ててからの3年間は、私達にとって未知への挑戦と言っても過言ではないくらい難問続きでした。無い知恵を振り絞っての勉強会、気になる子供を預けての施設見学会、東京都や青梅市への訪問などが続きました。そして傷ついて泣いたり悩んだり挫折しそうになったりしました。今はそれもよい経験だったと思います。またShinjoプロジェクトのヒアリングでいつも話下手で涙もろい私達のお話を聞いてくださった方々の優しさも大変な勇気になりました。Shinjoプロジェクト成果報告に選んでくださったことや助成金を頂いたことも大きな励みになりました。これからも後輩のお母さん達にバトンタッチをするまで、次のグループホーム建設ができるよう努力していきたいと思っています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

believe 161

NPO法人 あゆみの家会報

ピリブ: 地域で障がい者が生活できることを信じて
東京都青梅市大門3丁目15番地の6 吉澤ハイツ 102号室
電話0428-34-9643

2014. 4.1 発行
発行責任者 尾根清美

あゆみの家は、
青梅市に住んでいる重度身体障がい児(者)を対象に
右の事業を実施しています。

- 重度身体障がい児(者)の生活・宿泊・入浴訓練
- 重度身体障がい児(者)の緊急一時保護
- 介護者支援を目的とした重度身体障がい者(児)の一時保護

26年度もよろしくお願ひ致します

平成 25 年度も「NPO 法人あゆみの家」に皆さまから多くのご支援をいただきありがとうございました。25 年度は、長年お世話になりました日向和田・野村様の借家から大門のアパートへ転居という慌ただしくも嬉しい移転があり、新拠点では引っ越しにも関わらず事業を引き続きスムーズに継続できた事はパートさんの頑張り、利用者皆さまのご理解・ご協力があつたからこそだと思います。また、アパートの改装には「あゆみの家を支援する会」様の建設準備金の一部・真如苑「Shinjo プロジェクト」様からの助成金・母体であります「あゆみの会」の3団体からの寄付金をあてさせていただき無事工事が出来ました。関係者の皆さま本当にありがとうございました。今年度も変わらず運営を行ないます。引き続き皆さまのご利用、ご協力、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

3月4日、消防用設備等設置届出・点検に消防署の方がお二人来所しました。避難誘導灯及び誘導標識・防火ジャータン・防火カーテン等点検、設置に不備なく確認されました。届出には、東新商会様が色々手続きをして下さり大変助かりました。あゆみの家の利用者は車椅子使用の重度身体障がい者なので、災害等緊急時には避難が大変困難です。いざという時に備えて、出入口だけではなく、掃き出し窓からでも脱出出来る様に仮設スロープ等を設置して、近々実際に避難訓練を実施したいと思っています。その折には消防署の方も来て下さるとの事でしたので、ご指導受けながら年に数回は訓練したいと思っています。やはり常日ごろの訓練はととても大事な事だと思います。

(尾根 清美)



防火ジャータン
と
防火カーテン

「市民活動公募助成紹介パンフレット」に

あゆみの家が掲載されます

あゆみの家は長年にわたり「Shinjo プロジェクト」から助成金をいただき、事業を運営していく上で大変助かっております。助成金申請当初からの4年間は「重度肢体不自由者のホテル宿泊体験訓練」に対する助成でしたが、12年度からは今までの施設外宿泊体験訓練を生かした次の段階としてあゆみの家の最大目標「ケアホーム建設計画」への助成に変えて申請、毎年のヒアリング、昨年暮れには市民活動公募助成説明会会場での「Shinjo プロジェクト」成果報告発表、そして今回は市民活動公募助成パンフレット掲載の為にヒアリングに9月29日行ってまいりました。

真如苑 社会貢献アドバイザー委員の早瀬 昇様からは、あゆみの家は着々と目標に向かって頑張っていて成果も出ていて、助成金を出している皆さんの中でも成功している団体です。という嬉しいお言葉もいただきました。そんなあゆみの家・私たちの活動が少しでも皆さまのお役に立てたら嬉しいです。ありがとうございました。

(尾根 清美)

ありがとうございました

あゆみの家を支援する会様より

- 9月30日 36,140円(無農薬野菜売上金 宮崎・高橋・岩井様)
- 10月28日 720,000円(寄付金 匿名様)
- 10月28日 50,000円(寄付金 杉山様他)

をお預かりしました。あゆみの家を支援する会の普通預金にケアホーム建設準備金として入金させていただきます。ありがとうございました。

編集後記

今月号は障がい者スポーツ大会にボランティアであゆみの会員を支援して下さった民生委員の方々、また親子レクでボランティアとして参加された方々にも感想をお願いして快く原稿を書いていただき、この場を借りてお礼申し上げます。会員以外のいろいろな方と接することで、障がい者を理解していただくことにつながるのではないかと思います。

(神山 民子)

あゆみの家の生活訓練、宿泊訓練、緊急一時、レスパイト、などご利用をお待ちしております。